

北海道クールロジスティクスプレイス（株）に対し、 温度管理型冷凍冷蔵庫新設のため、 シンジケート・ローンを組成

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、北海道クールロジスティクスプレイス株式会社（本社：北海道苫小牧市、代表取締役：橋本哲実、以下「当社」という。）に対し、温度管理型冷凍冷蔵庫新設のため、総額62億円のシンジケート・ローンを組成し、地域金融機関を含む6行が参加しました。

当社は、国内有数の貨物取扱量を誇り、新千歳空港にも至近な物流港である苫小牧港において道内最大級の港湾立地型の食品用冷凍冷蔵庫を整備することを目的に、同港を事業拠点とする苫小牧埠頭株式会社によって2017年12月に設立され、DBJ、日本通運株式会社、北海道空港株式会社、ホクレン農業協同組合連合会の出資を受けて事業体制を整備し、2020年春の開業を目指し現在冷凍冷蔵庫を建設中です。

本件は、「港湾型冷凍冷蔵庫」の新設を通じて、産地型と流通型が中心である既存の道内物流を補完する新たな物流モデルを構築し、①道内食品出荷の安定化・平準化、②食品加工業の集積・育成、③道内産品の混載・共同化、④空港と連携した輸出入体制の強化などの物流の高度化を進めることで、北海道の食産業の更なる振興に寄与し、道産品の輸出拡大、食関連産業の高付加価値化に貢献するものです。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、地域経済の活性化や競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

<シンジケート・ローンの概要>

組成総額	62億円
借入人	北海道クールロジスティクスプレイス株式会社
アレンジャー兼エージェント	DBJ
貸出人	DBJ、北洋銀行、北海道銀行、三菱UFJ銀行、農林中央金庫、苫小牧信用金庫

News Release

<新設冷凍冷蔵庫の概要>

建設地	北海道苫小牧市字弁天1番地44~45 (苫小牧東港区・苫小牧国際コンテナターミナル隣接地)
竣工時期	2020年春
設備	収容能力：20,200トン (冷蔵7,500トン、冷凍7,700トン、冷凍・冷蔵切替5,000トン) 温度帯：冷蔵0~15℃、冷凍-38~-25℃、冷凍・冷蔵切替-25℃~15℃ 機能：CA冷蔵庫(2,800トン)、急速冷凍庫、加除湿装置
取扱品目	食品加工品(冷凍食品・菓子等)、加工用中間製品、農産物(野菜、コメ、豆、果実等)、畜産物(牛肉、牛乳、乳製品等)、水産物(ホタテ、鮭、スケトウダラ等)

【お問い合わせ先】

北海道支店業務第二課 電話番号 011-241-4113